

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	府中療育センター 通園	公表日	令和7年3月26日
------	-------------	-----	-----------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	クラスで使用する保育室を固定してしまうのではなく、登園状況などに応じて流動的に使用したり、保育室を二部屋つなげて使用している。	40人の定員いっぱいまでお子さんがきたら、狭くて危険だと感じる点もある。その際にはさらに使用の検討や改善をしていく必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	4	親子保育や分離保育と保育形態があり、登園人数、お子さんの特性によって、クラスを超えて職員配置の工夫を行っている。 双子のお子さんが登園時には、職員が1名ついて、保護者と一緒に支援を行っている。	お子さんの状況や活動内容、双子のお子さんの対応時など、応援が必要な時には他部署にも働きかけていきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0	クラスにマークを付けるなど、わかりやすくしている。 支度のカゴに写真を貼るなどの工夫で、お子さんが取り組みやすいように視覚化を図っている。	お子さんの特性によって、広々とした空間が集中の妨げになったり、呼吸器や吸引が必要なお子さんには広いパーソナルスペースが必要になる。そのためには生活空間の使用の仕方を工夫していく必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	業者の定期清掃以外に、朝・降園後と清掃を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0	個別の部屋はないが、必要時は空室を利用したりしながら工夫している。 お子さんによっては、食事場所を変更して対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	0	通園内の業務検討会で実施し、その内容を通園運営会議を通して、多職種に伝え、必要に応じて再検討している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	保護者の意向を確認し、通園内で話し合い検討している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	業務検討会だけでなく、毎日のミーティングでも話し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	1	第三者評価は2年に1回実施している。評価を受けて、必ず業務改善のための話し合いを行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	研修の機会は多種多様にある。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	ホームページで共有できるようになっている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0	各ご家庭からのニーズや課題を受けて、計画書を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	各クラスで作成したのち、職員間で共通理解している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	通園内の支援計画書会議、ケース会議で情報共有されている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1	日々の個人記録は療育システムに入力しているため、必要な時は過去の記録を確認できる。	標準化されたツールは用いていないが、今後必要に応じて、アセスメントや日々の観察の中で確認していく。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	府中療育センター 通園	公表日	令和7年3月26日
------	-------------	-----	-----------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	共通システムを活用し、関係部署の職員間で、確認し、共有している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	クラス内で必ず話し合いを行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	1	あそびや活動の繰り返しを大切にしているプログラムになっている。その中でお子さんが自信をつけて、遊びに取り組みよう働きかけに工夫をしている。 また、当日の登園児のメンバーを考慮し、活動を変更している。	繰り返し遊ぶことの大切さはあるが、バリエーションを増やし、あそびの展開を工夫していく。 月1～2回の登園数の少ないお子さんに対するプログラムを検討する。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	年齢のほか、お子さんの状況や個々に合わせて支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	全体ミーティングだけでなく、分離クラスでは保育開始前の打ち合わせを行っている。また、各クラスで適時、行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	2	必要に応じて、振り返りや共有を行っている。 日々、クラスで行っている。	必要に応じて、情報共有が行われている。また、支援の振り返りや気づいた点や反省点については適時、共有していく必要がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	療育システム（電子カルテ内のシステム）で個人記録を入力している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	必ず見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	担任・児童発達支援管理責任者・MSW等が個々のお子さんに関係している職員が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0	お子さんの状況に合わせて、実施している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0	必要に応じて、双方で見学を行い情報交換を行い、支援内容を共有している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0	担当者が窓口となり、情報共有している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	11	0	事業所全体で取り組んでいる。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9	2	摂食専門医などに助言をいただいたり、勉強会を実施している。 各種研修に参加している。	必要に応じて、外部研修に参加し、それぞれが自己啓発にも取り組んでいく。
30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7	4	センター全体として、MSWなどが出席している。	他科が中心になっており、今後も必要に応じて参加していく。	
	(31は、事業所のみ回答)					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	府中療育センター 通園		公表日		令和7年3月26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	-	-		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	10	以前はあったが、コロナ以降、計画できず、なかなか機会を設けられない。	今年度実施予定だったが、手足口病、インフルエンザ等の流行など感染症の流行で実施できていない。感染の状況を見て、計画・実施できるように検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	登園後は必ず情報共有し、ご家族へ電話連絡したり、面談等を行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0	ペアトレはセンター内事業として行い、お子さんの状況に合わせて実施している。 通園では保護者向け勉強会を行っている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	契約時、説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	ご家族・お子さんの意向をアンケートや面談で伺い、計画に盛り込んでいる。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	0	年3回以上児童発達支援管理責任者が、保護者と面談し、支援計画書の説明と保護者にサインをいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	児童発達支援管理責任者とクラス担任、それぞれ年3回以上面談の機会を設けているほか、必要時、面談を行っている。	子育ての悩みなどに関して、より適切なアドバイスができるように職員間で共有し、必要に応じて、他職種とも共有しながら必要な助言と支援に引き続き努めていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	3	通園する中で、日々職員を介して、保護者が交流や情報交換できるように工夫している。	親の会は保護者の意向で終了となったが、ご要望に応じて、再検討する。または、通園の行事の中で保護者やきょうだい同士が交流できる機会を検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	必要時、対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0	ホームページに掲載し、お知らせしている。また通園の園だよりで、必要な情報を発信している。	SNSはLoGoフォームを活用している。ホームページについては最新の情報発信できるように更新していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	紙ベースのものは、鍵付きの棚に保管している。 現在は電子カルテ・療育システムで管理している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	お子さんの状況に合わせて、サインなどを使い、伝え方に考慮、工夫している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	3	コロナ禍以降、センター全体としては少しずつ受け入れるようになってきている。	センター祭の参加など、流行感染症の感染状況を鑑みながら安心安全に事業運営ができるように検討していく。
非常	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	マニュアルを作成し、必要に応じて、保護者に周知している。	年1回以上職員間で訓練を実施しているが、今後はご家族参加の訓練も検討していく。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	防災訓練の実施について、保護者にプリントを配布し、年間計画を立てて訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0	入園前の面談で看護師と一緒に確認している。また、日々の体調を確認し、看護師も丁寧に聞き取りをしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	11	0	年1回アレルギーのアンケートを実施し、栄養士と面談を実施し、通園主治医が食事箋を出している。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		府中療育センター 通園				公表日	令和7年3月26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
時 等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	府中療育センターのマニュアルがあり、それに基づいて実施している。		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0	防災訓練を月1回行い、定期的に安全についての確認を行っている。		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	インシデント・アクシデントレポートは事業所の幹部職員にも共有され、再発防止と対応策の検討をしている。		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	年2回、虐待防止の研修を実施している。		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	0	児童発達支援管理責任者がご家族に説明し、同意書にサインをいただいている。通園内で検討し、計画書に記入している。		